



入 学 式



バレーボール部



陸 上 部



南高だより

題字 平田康裕先生

第144号

H30.7.19 発行
山形県立山形南高等学校
P T A 総務部
山形市東原町4-6-16
☎622-3502
印刷：(株)大風印刷
写真：フォトオクヤマ

私は昨年度後期からこの山形南高校の第六十九代生徒会長を務めさせてもらっています。私の前には、六十八人も生徒会長がいて、何千何万の南高生の先輩がいて、「南高」というものはその方々がリレーのように次の代へと繋いできたものだと思っています。三年生になり、今、そのバトンを握っていることへの緊張と喜びは最高に高まっています。南高の名を背負うことに誇りを持ち、自分のちの代の南高祭・受験に取り組んでいきたいです。

南高の繋がり

生徒会長 矢萩 慧太



長い歴史を持つ南高のことをリレーと例えましたが、リレーは走者が速く走ることだけでは上手くはいかず、バトンを次の人にどう繋ぐのかも重要になります。乱雑なやり方をすればミスになり、大

幅に失速してしまいます。毎年生徒が入れ替わり代変わりしていく学校においても、この「バトンパスの丁寧さ」は重視されるべきです。私は三年生になって、高校生活の集大成を決めたいという思いとは別に、この南高が強く成長してほしい、そして自分もその一部になりたいと思うようになりまし。私たちが培ったものを、次の代に丁寧に引き継ぐ。そうすれば、南高の自身の肉となる支え手自体は変わっていくものの、過去から未来へ続いてゆく南高の、一つの魂としての成長は確実に増してゆくはずです。私はすでにこの南高から多くの豊かな経験をもらいました。そのことに感謝し、「次の代への繋がり」を意識した最後の一年を送りたいです。

生徒会
スローガン

蒼 荒 男



南東定期戦



スポーツテスト



「NO」より「YES」

校長 大沼 敏美

二年ほど前のことですが、一億総活躍国民会議で女優の菊池桃子さんが、「働く母親にはPTA活動は難しい」と発言し、ネットでは賛辞の声があふれました。

ヒトと同じ霊長類のチンパンジーは年子や双子を産まないそうで、それは母親が一人で子育てをするからだと言われています。一方、人は社会全体で子どもを育て、親はもちろん、学校も地域もその役割を担っています。

今、教職員の働き方改革が話題になっています。本校においても勤務時間外に及ぶ部活動の指導など、多忙化は深

刻を極め、校是である『師弟同行』という言葉を使うのははばかられることもしばしばです。

PTA活動にせよ教員の多忙化解消にせよ、保護者も学校も、子どもたちの健やかな成長を願うことに変わりはない。く、「AかBか」という二者選択を迫らず、「AもあればBもCもある」という柔軟な思考になれば、どんなことも解決に向かうはず。そして、気づいていないものに価値を見いだすためには「NO」より「YES」。肯定的な言葉を口にしながら一緒に活動してまいります。

今回は「男」という字を通して、私なりの考えを交え南高生のあり方を書いてみたいと思います。「男」という字は部首である「田」と作りである「力」に分かれます。読みは「おとこ」と「だん」があります。まず、「田」の持つ意味は、文字どおり田んぼを指しますが、「力」の部分に重要な意味が含まれております。実は「力」という作りは、耕作に欠かせない鋤の形からきています。つまり、生活の糧である田んぼを耕す人たちの中で、特に優れて管理を任せることが出来る者を「だん」とし、この字が使われました。ちなみに、華族制度であった

男爵の「だん」の字はこの意味で用いられているのです。さて、「男」の字の由来どおり、南高生たる者は自分で責任を持って生活の糧を生み出し、また選ばれし者にならなければなりません。そのため必要なものは何かを自分で考え実践し身につけていくために勉強や部活動、生徒会活動を通じてたくさんの方の力を吸収する努力を続けて欲しいと南高生を持つ親として願っています。

常に注目されている南高生ですから、ぜひとも南高生の誇りと男粋を皆に見せましょう。南高生に幸あれ。



「男」としての南高生

PTA会長 佐藤 一



県総体激励会



県総体激励会

PTA専門部

◆総務部

南高生のひたむきな姿、活動の様子、内に秘めた思いと、先生、父母の想いを「南高だより」に載せて皆様にお伝えしていきます。

(五十嵐貴久)

◆文教科

生徒たちの自立と未来を拓く力を育むことができるよう、皆様と先生方と力を合わせて研修活動の活発化と積極的な参加を呼びかけ、応援していきます。

(岡崎希一郎)

◆生徒指導部

おはよう!!のキャッチボールで、熱き南高生の笑顔と健全な心身の育成のために生徒指導部一丸となり微力ながら応援していきます。

(三浦 幸二)

◆保健体育部

南高生が健全な心身を持ち日々を過ごせるよう、体育祭やマラソン大会、学校保健委員会等への参加を通じて、大進撃を応援していきます。

(伊藤 成克)



生徒総会

漢たちの自画像

南高生群像二〇一八

憧れの南高生になって

一年一組 沼澤虹太郎

憧れの南高に入学して早二ヶ月、大きく変化した環境に早く慣れるために、がむしゃらに毎日を過ごしてきた。南高生は忙しいと聞いていたが予想以上だった。しかし、新しい仲間と協力して過ごす毎日はとても楽しく、充実している。

私は、高いレベルでの文武両道に憧れて入学したが、実際に実行するとなるととても大変である。だからこそ、当然のようにこなし、さらに向上しようとしている先輩方はすごいという一言では済まない。私も、南高生の一人として、自覚と誇りを持ち、精一杯、この学校のために頑張っていきたい。

文武両道の厳しさ

一年二組 青柳 直澄

南高に入学し、三か月がたった。考查もあり、その結

果に、不安や焦りを感じる人もいると思う。この学校に入学し、私は「高いレベル」での文武両道がいかに厳しいものか痛感した。私は音楽部に

入部し、部活は運動部に比べ少ないが、日々の課題、予習もあつて、満足な復習もできているとはいえない。運動部の人なら尚更だろう。南高生としての生活は、大変なものがそれだけではない。新たな友人や教員の方々から、日々多くの刺激を受けることができる。毎日が楽しく感じる。文武両道は確かに厳しいが、新たな仲間達と共に、それを乗り越えていきたいと思う。

これまで以上に

二年一組 菅原 陽

南高に入学してから早一年がたち、私は先輩になった。正直、実感が湧いてこないくらい早い一年だった。部活と勉強の両立に励む日々慣れはしたものの油断はできない。そんな中、二年生では南高を

引つ張りつつも、将来について考えなければいけない。私は前から「教師」になりたいという夢がある。この夢を叶えるためにまだまだ努力しなければいけないし、その道すじをそろそろ明確にしなければいけないだろう。南高二年目、これまで以上に努力し、考え、形に表していきたい。勉強でも、部活でも、進路でも。自分に厳しく、甘えることなく。

今成すべき事

二年四組 田島 駿介

私は陸上競技部で活動している。総体が終わりチームとして秋の駅伝に向けて日々練習を積み重ねている。入部した当初は何もわからず失敗や怪我に悩まされることが多く、自分の無知を嫌と言うほど実

感した。だが失敗ばかりではなかった。失敗から学び、しっかりと練習を行うことで徐々にタイムを短くすることもでき、レースで良い走りをする事が出来た。この一年、陸上競技を通じて沢山のことを学ぶことが出来た。まだまだ力は足りないが、目標達成に向けて、今自分が何をしなければいけないのかを考え、これから力をつけていきたい。

集大成

三年二組 野口 太陽

インターハイに出場する。高校入学時からずっと目標にできたことだ。二年連続でインターハイ予選の決勝で敗れ、悔しい思いをしてきたので、今年こそ絶対に勝つという気持ちで県総体に臨んだ。

インターハイをかけた負けられない試合で焦りと緊張はあったが、南高全体が一丸となり、南高に追い風が吹いていた。決勝は酒田光陵、南高らしい勢いのある攻めの剣道ができたが、大将戦で負け、一本差で準優勝に終わった。あと数十秒逃げ切れれば目標に手が届いただけに本当に悔しい結果だが、自分達の力を出し切れた試合であり、一生の思い出になった。



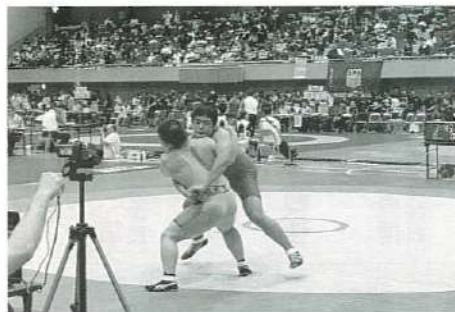
ボクシング部

全国の舞台へ

三年六組 後藤 一成

「青コーナー後藤君、山形南高校の判定勝ちです。」アナウンスが会場に鳴り響き、自分の右腕が高々とあがった。二年生時では、この姿を考えたくても考えられなかった。

昨年の六月から部長として部の先頭に立つてきたが、当初はボクシング内容が悪くなる一方で勝っていた相手に負けるというどん底にいた。そんな自分を救ってくれたのは折原先生だった。やらされている練習になつていないか見直し、練習に対する姿勢を変えた。いつしか自信が芽生え、結果優勝できた。インターハイでは、先生やコーチ、家族、そして努力した自分に勝利を届けたい。



レスリング部

運動部活動報告

日頃より本校運動部の活動に対し
ご支援・ご協力をいただき感謝とお
礼を申し上げます。

県高校総体

バスケットボール部	学校対抗	3位
ボクシング部	学校対抗	2位
第1位	フライ級	高木 達哉
第2位	ミドル級	堀江 遼佑
第3位	フライ級	阿部 悠太郎
第4位	ミドル級	室岡 拓樹
第5位	ライトフライ級	阿部 悠太郎
第6位	ライトフライ級	石井 百迅
第7位	ライトフライ級	阿部 悠太郎
第8位	ライトフライ級	阿部 悠太郎
第9位	ライトフライ級	阿部 悠太郎
第10位	ライトフライ級	阿部 悠太郎
第11位	ライトフライ級	阿部 悠太郎
第12位	ライトフライ級	阿部 悠太郎
第13位	ライトフライ級	阿部 悠太郎
第14位	ライトフライ級	阿部 悠太郎
第15位	ライトフライ級	阿部 悠太郎
第16位	ライトフライ級	阿部 悠太郎
第17位	ライトフライ級	阿部 悠太郎
第18位	ライトフライ級	阿部 悠太郎
第19位	ライトフライ級	阿部 悠太郎
第20位	ライトフライ級	阿部 悠太郎

ベスト16 個人戦ダブルス
中川 雄祐・遠藤 浩平
2回戦出場 個人戦シングルス
中川 雄祐・八木澤 駿

柔道部	団体戦	2位
第1位	60kg級	鈴木 喬
第2位	60kg級	加藤 卓
第3位	60kg級	梅瀬 卓
第4位	60kg級	梅瀬 卓
第5位	60kg級	梅瀬 卓
第6位	60kg級	梅瀬 卓
第7位	60kg級	梅瀬 卓
第8位	60kg級	梅瀬 卓
第9位	60kg級	梅瀬 卓
第10位	60kg級	梅瀬 卓
第11位	60kg級	梅瀬 卓
第12位	60kg級	梅瀬 卓
第13位	60kg級	梅瀬 卓
第14位	60kg級	梅瀬 卓
第15位	60kg級	梅瀬 卓
第16位	60kg級	梅瀬 卓
第17位	60kg級	梅瀬 卓
第18位	60kg級	梅瀬 卓
第19位	60kg級	梅瀬 卓
第20位	60kg級	梅瀬 卓

東北高校選手権大会
ボクシング部
第1位
第2位
第3位
第4位
第5位
第6位
第7位
第8位
第9位
第10位
第11位
第12位
第13位
第14位
第15位
第16位
第17位
第18位
第19位
第20位

山形県春季ジュニアダブルス	出場
山形県ジュニアマンスリーテニス	出場
山形県ジュニアマンスリーテニス	出場
山形県ジュニアマンスリーテニス	出場
山形県ジュニアマンスリーテニス	出場
山形県ジュニアマンスリーテニス	出場
山形県ジュニアマンスリーテニス	出場
山形県ジュニアマンスリーテニス	出場
山形県ジュニアマンスリーテニス	出場
山形県ジュニアマンスリーテニス	出場
山形県ジュニアマンスリーテニス	出場
山形県ジュニアマンスリーテニス	出場
山形県ジュニアマンスリーテニス	出場
山形県ジュニアマンスリーテニス	出場
山形県ジュニアマンスリーテニス	出場
山形県ジュニアマンスリーテニス	出場
山形県ジュニアマンスリーテニス	出場
山形県ジュニアマンスリーテニス	出場
山形県ジュニアマンスリーテニス	出場
山形県ジュニアマンスリーテニス	出場
山形県ジュニアマンスリーテニス	出場
山形県ジュニアマンスリーテニス	出場
山形県ジュニアマンスリーテニス	出場

文化部活動報告

文芸部

顧問 寺澤 裕子
昨年度の県コンクールで最優秀賞をいただき、今年度の全国高総文祭へ出場します。優秀賞(県二位)もいただき、北海道東北大会へも出場します。さらに俳句甲子園への出場をかけて精進しています。地方予選で優勝を狙います。

新聞編集部

顧問 信夫 京子
部員十二名、春の「新任者紹介号」を皮切りに、各種大会、文化部定期公演等、南高生の活躍を随時取材し、速報で流させてもらっています。昨年の県高校生新聞コンクールでは、優良賞を頂きました。更に励んでいきたいと思えます。

映画演劇研究部

顧問 熊澤 由美
五月二十六日に中央公民館にて第四十三回定期公演を開催、多数のご来場ありがとうございました。台本から照明や音響、舞台装置、演出も全て部員による手作りの舞台になりました。今後、二年生二名で県大会を目指します。

写真部

顧問 目黒 圭子
昨年度の全国総文祭に二名が出場し、コンテストでは最優秀賞を多数受賞することができました。又、今年六月開催の写真展には大勢の方からご来場いただきありがとうございます。今後も腕を磨き最優秀賞目指し頑張ります。

吹奏楽部

顧問 佐藤 功
六月二日、やまぎんホールにて第五十九回定期演奏会を開催、大勢の聴衆を前に演奏を披露しました。沢山のご来場ありがとうございました。現在は吹奏楽コンクール東北大会出場を目指し、部員一丸となり練習に励んでいます。

英語部

顧問 高橋 愛子
昨年度、英語ディベートコンテスト県大会で三位を受賞しました。今年は全国大会出場を目標に、部員一同練習に励んでいます。また、六月四日に山形市立第五小学校にて毎年恒例のボランティアアレッソンを開催しました。英語部の生徒たちが考えた英語活動を、小学三年生のクラスで実施し、笑いの絶えない楽しい活動ができました。ありがとうございます。

父より息子へ

未来へ向かって

一年三組 庄子 真一

入学から二ヶ月が過ぎもうすっかり南高生らしくなりましたね。先日行われた、英語の授業参観では、家での予習をもとに理解を深めることが実践されていて、素晴らしいと感じました。

部活動は書道部で仲間と共に練習に励んでいることと思います。南高祭での書道パフォーマンスや、高文祭への出品を楽しみにしたいと思います。

高校時代は自分が一番好きなことに全力で取り組んでください。そこから今後の自分の進む道がきつと見えてくると思います。ガンバレ。

感謝と志と文武両道

一年四組 高橋 信一

「南高、僕の母校。」校門前を通る度言っていた。努力の末には大きな喜びがある。支えてくれた方々に対する感謝を忘れないで欲しい。

入学式は父が第一回目の卒業式をした講堂。前年、野球部は甲子園出場。今も同窓会

で語り継ぐ。

南高の伝統「文武両道」。

高い志を持ち、真摯に学び、心身を鍛え、弛まぬ努力を続けて欲しい。その中で生涯の師、友人と出会うことを願う。そして豊かな人格と挑戦する強い気力、体力、知力を育み、将来へ飛躍して欲しい。

南高生として

二年一組 推名 和巳

中学三年生になってすぐの新年度決意文に『文武両道』と記し、その後も事ある毎に南高への想いを熱く語ってきました。

憧れの南高生になってどうですか？朝早くから夜遅くま



で部活動・勉強と休む暇さえ無い中ですが、それを乗り越え更に高いレベルを目指すのが南高生だと思います。

君が南高の先輩方に憧れたように今度は憧れられる存在にならなければなりません。毎日同じ繰り返しであつても、今この瞬間は一生に一度だけです。南高生としてあと一年半。大いに楽しめ!!

16才の君へ

二年四組 田島 恵一

毎朝始発で登校し、部活や授業に励んでいる様子を影ながら応援しています。南高生活はとてもハードだと思います。心と体と頭の進行が噛み合わなくなったら、多少は親に発散して下さい。

自分の時間を自分の目標の為に思いっきり使い、全力で高校時代を駆け抜けて欲しいと思います。どんな事でも経験は決して無駄にはならない。必ず君を大きくします。そして、その中で感謝の気持ちを忘れず、仲間達と切磋琢磨しながら、内から輝いて下さい。

願い

三年二・七組 後藤 貴紀

お前が双子として、この世に生を受けてから、約十七年の月日が流れた。お前は未熟

児で生まれ、保育器の中で酸素マスク等を装着されていた。お前は、心配そうに見つめる私と母さんに顔を向けながら必死に「心配すんな。」と言っているようだった。そんなお前は、大きな病氣もせず丈夫に育ち、最近では私と似て、身長も態度もでかくなり、頼もしさすら感じるようになった。これは私の一番の願いだが、今後も人様に迷惑をかけず、健康で過ごしてほしい。そして、私はこれからも、お前のファンとして応援し続ける。

充実の高校生活

三年五組 鈴木 久雄

南高ハンドボール部初の東北大大会出場おめでとう。心から称賛を送ります。決して恵まれているとは言えない練習環境の中でがんばってきた成果が、今回の好成績につながったと思っています。部長として部をまとめることは大変だったでしょうが、三年生全体が仲が良かったことと後輩達が協力的であったこと、顧問、コーチの方々への感謝を忘れないようにして下さい。高校生活で得た全ての経験が今後の人生に繋がります。残りの高校生活も自分よく考えて決定し充実したものにできるようにがんばって下さい。

編集後記

入学式で来校してから早三ヶ月、時間の大切さに改めて気付かれます。

本誌発行前に原稿チェックも兼ねて先に読ませていただいたこの南高だより。文章や写真から伝わってくる熱いメッセージに、やはり母校南高は素晴らしい！と実感しました。この感動を皆さんと共有できるよう、これからも情報発信していきたいと思います。一年間よろしくお願いたします。

青柳 大

編集メンバー

部長 五十嵐貴久
副部長 木之内元明
草薙 彰弘
有本 貴範
青柳 大
齊藤 博輝

南高職員 池野 輝
田中 巖

